

(別紙様式 = 小学校用)

都道府県番号	47
都道府県名	沖縄県

【  】  
\*重点をおいた観点にチェックすること

### 学校名及び規模

学校名	石垣市立真喜良小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	3	3	1	15	19
児童数	70	69	63	75	83	84	3	447	

### 研究の概要

#### (1) 研究主題

「確かな学力」を身に付けさせ、生きる力を育む指導法の研究  
基礎・基本の定着をめざして

#### (2) 研究主題設定の趣旨

本校は、平成14年度から16年度までの三年間「学力向上フロンティアスクール」の研究指定を受け、昨年度から基礎・基本の定着を図る取り組みを実施し基礎計算力と漢字力の習熟と向上を図ってきた。その結果、一年次は各学年とも基礎計算力と漢字力の向上が見られた。しかし、算数科における多様な考え方や計算力、国語科での読解力や漢字力等、基礎的・基本的事項が充分身につけていないと言えない。

そこで、算数科と国語科における基礎的・基本的事項の定着を図り、「確かな学力」を身に付けさせ、それを基に、自ら学び自ら考える力等の「生きる力」を育みたいと考え、この主題を設定した。

二年次は、算数科におけるきめ細かな指導のための学習指導の工夫として、少人数指導や教科担任制を取り入れ、児童一人一人の実態に応じた算数の基礎・基本の充実を図ることや、国語科においては音読指導や漢字指導の充実を図りたい。また、学習指導における学習過程の工夫や朝の常時活動で基礎・基本の確実な定着をめざした反復学習の在り方を研究の重点に置き、継続研究をすすめたい。

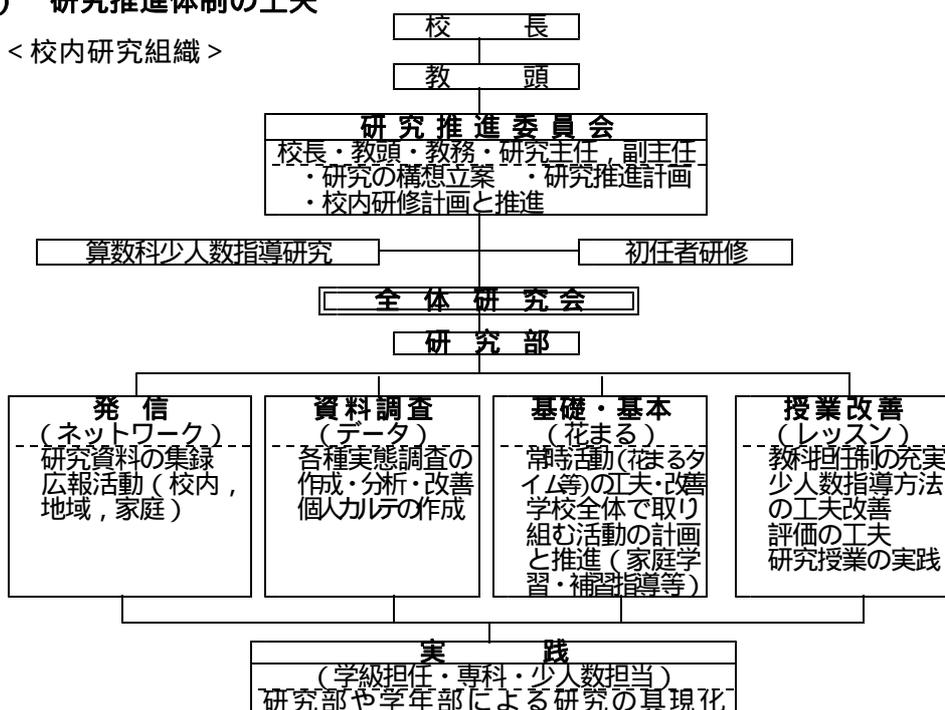
<研究仮説>

(1) 算数科と国語科において、基礎・基本の定着を図る学習指導と評価の工夫を行えば、確かな学力が身につくだろう。

(2) 授業や常時活動において、反復学習を継続して取り組めば、児童一人一人に基礎・基本が定着するだろう。

研究の概要  
(1) 研究推進体制の工夫

< 校内研究組織 >



(2) 研究の実際

< 基礎・基本の定着 >

読み・書き・計算を中心に、各学年の身に付けさせたい重点事項を設定し、定着を図る。朝の花まるタイムや授業の学習過程の中で反復学習を取り入れ、基礎・基本の定着を図る。

全校体制で取り組む「花まるタイム」計画

- ・ 毎週木曜日(8:25 ~ 8:40)「花まる国語」・・・視写, 暗唱, 漢字
- ・ 金曜日 " " "花まる算数"・・・百ます計算(+・-・×・÷)
- ・ 花まるタイム年間計画や指導マニュアルに基づいて全学級推進する。
- ・ 花まる記録カードを作成し, 自己記録を毎日記入する。
- ・ 月1回の力だめし日は, 花まる印鑑と花まるバッジで賞賛する。
- 花まる記録カードの作成と記録の継続
- ・ 低中高学年用の記録カードを作成し, 自己の目標を持たせる。
- 「花まるタイム」研究授業の実施。

花まるタイム年間計画例

(国語)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9月	あんしょう 「五十音」	あんしょう 「おおきな あれ」	暗唱 「私と小鳥と すずと」	暗唱 「アサガオ」	暗唱 「あなたへ」	暗唱 「祇園精舎」 平家物語第一巻
担当	林	田代	福地	豊里	教頭	平地
10月	ししゃ 「じどう車く らべ」	ししゃ 「サンゴの海 の生きものたち」	視写 「ちいちゃん のかけおくり」	視写 「一つの花」	視写 「わらぐつ 中の神様」	視写 「海の命」

(算数)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9月	25ますたし算 プリント	50ます たし算 プリント	百ます かけ算 プリント・ノート	百ます かけ算 ノート	百ます かけ算 ノート	百ます かけ算 ノート
担当	林	田代	福地	豊里	教頭	平地
10月	25ますひき算 プリント	50ます ひき算 プリント	百ます たし算 プリント・ノート	百ます たし算 ノート	百ます たし算 ノート	百ます たし算 ノート

## 花まる記録カード例

花まる算数 マス計算記録 No.		3年 組 名前						
めざせ：目標タイム 25、50、64マス計算：2分以内								
百マス計算 3分以内								
個人目標タイム (25・50・64・100) マス (+ - × ÷) 算 分以内								
日	マス	タイム	1分	2分	3分	4分	5分	6分
/		分 秒						
		分 秒						
		分 秒						
		分 秒						

### < 授業改善 >

算数科における少人数指導（2年生～6年生）

少人数の学習集団を編成し、算数の基礎的・基本的内容の定着を図る。

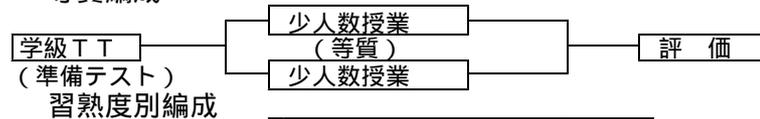
一人一人の児童の習熟度に応じた、きめ細かな学習指導の充実を図る。

個に応じた指導方法や指導形態の工夫を図り、成就感を味わわせるとともに学習意欲を喚起する。

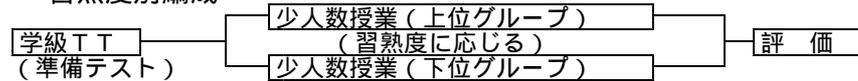
指導形態

ア 同一学級を单元ごとに2つの学習集団に編成し、2教室で行う。

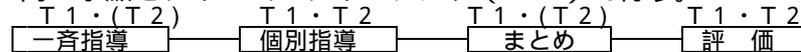
等質編成



習熟度別編成



イ 同一学級をチーム・ティーチング（TT）で行う。



ウ コース別学習

同一学級を3コースに分けて行う。

エ 2学年は習熟度別(主に2学級の下位グループ)指導を算数教室で行う。

### < 児童の変容をみる調査研究 >

漢字力実態調査・・・前学年までの既習漢字の読み書きをテスト調査する。

計算力実態調査・・・各学年の計算領域を前学年までテスト調査する。

学校テスト・・・当該学期の算数と国語（漢字）の習熟度をテストし、学習内容の定着を図る。

生活実態調査・・・基本的生活習慣について実態調査し、家庭と連携していく手立てとする。

## (3) 研究の成果と課題

### 成 果

#### < 研究体制から >

研究組織の活性化を図り、研究部と学年部の連携した実践ができた。

今年度は、基礎・基本の定着の手立てとして、「花まるタイム」の充実を図る取り組みに重点を置き、全校体制で児童の実態把握、課題を確認し、実践に役立てることができた。

- ・各学年の身に付けさせたい重点事項の設定
  - ・花まるタイム年間計画作成
  - ・指導マニュアル作成（漢字指導・音読指導・視写指導・百ます計算指導）
  - ・花まる個人記録カード作成（花まる国語、花まる算数の各低・中・高学年用）
  - ・「花まるバッジ」の作成（児童デザインの高・中・低学年用）
- 「花まるタイム」年間計画に基づき、各学年の身に付けさせたい重点事項を目標に毎日継続、反復指導できた。（授業の中でも継続）

#### < 児童の変容から >

朝の花まるタイムが定着し、自己の目標を確認しながら時間内に集中して取り組む態度が身に付いてきた。

月1回の「力だめし」に向けて家庭でも努力する児童が増え、花まるバッジ

や花まる印鑑による賞賛で学習への喜びと次回への意欲がみられるようになった。継続、反復学習によって、学期1回実施する漢字力実態調査と計算力実態調査、学校テストから、基礎・基本が確実に身に付いてきているといえる。

**課題**

「花まるタイム」全体計画、自己評価表、指導マニュアルの改善。  
 児童の基礎・基本の実態に即した「各学年の身に付けさせたい重点事項」の見直し。  
 児童の伸びが分かる「花まる国語ノート」の工夫と評価の仕方。  
 個人差に応じた指導の工夫と補習時間の確保。  
 低・中・高学年の家庭学習の方法と環境づくり。  
 「花まるタイム」(15分)を充実させ、基礎・基本を定着させるための「基礎的な学習の時間」の設定。(週日程の工夫・改善)

**(4) 研究成果の普及の方策**

「中学校校区内小中合同学力向上対策実践発表会」において実践を発表。  
 「八重山地区学力向上対策実践発表会」において研究実践を発表。  
 保護者対象「校内実践報告会」を開催。  
 平成15年度研究報告書を作成し、八重山郡内小学校へ配布。  
 真喜良小学校ホームページへの登載。

**(5) その他**

夏休み基礎学力強化学習会の実施  
 ・1・2年(7月下旬), 3・4年(7月下旬), 5・6年(8月下旬),  
 全児童が強化学習会へ参加する。  
 ・習熟度別にグループ編成し、全職員で指導に当たる。  
 漢字検定、数学検定の団体受検を奨励している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】             6学級以下                       7～12学級  
                           13～18学級                     19～24学級  
                           25学級以上
- 【指導体制】             少人数指導                       T・Tによる指導  
                           一部教科担任制                 その他
- 【研究教科】             国語             社会             算数             理科  
                           生活             音楽             図画工作  家庭  
                           体育             その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無

**【特色ある取組事例として紹介したいポイント】**

**花まるタイム**

- ・基礎・基本の定着のため、朝の15分タイムに週2回「花まるタイム」を設けている。「花まる国語」「花まる算数」と呼称し、全校一斉に年間計画に基づいて実践している。
- ・「花まるノート」や「花まる記録カード」で自分自身の頑張りを確認し、授業(国語、算数)の中でも継続している。
- ・月1回の方だめしの日は、「花まる印鑑」「花まるバッジ」で賞賛し、明日への意欲付けをしている。
- ・「フロンティア研究校ニュース花まるまきらっ子」を発行し、保護者へ児童の様子を紹介している。

**実態調査**

- ・漢字実態調査(読み、書き)、計算力実態調査(計算領域)、学校テストを毎学期実施し、児童の変容と習熟度を比較考察し、基礎・基本の定着のための指導に活かしている。